

国立映画アーカイブ（NFAJ）は、映画を収集・保存・研究・公開する日本で唯一の国立の映画機関です。NFAJ は最初 1952 年に国立近代美術館（後の東京国立近代美術館）のフィルム・ライブラリーとして設立されました。2018 年に NFAJ は MOMAT から独立して、国立映画アーカイブという新組織になりました。2017 年現在、NFAJ は 8 万本ほどの映画や数多くのポスターや台本、映画に関する書籍を所蔵しています。

2 階と地階に 2 つの劇場があり、それぞれ 310 人分および 151 人分の座席があります。ここでは、O Z U と小ホールは監督・俳優・国・ジャンル・時代など様々なテーマに合わせた特集上映を行っています。NFAJ は毎年 9 月に開かれるぴあフィルムフェスティバルの共催もしています。

図書室は 4 階にあり、一般の人々が利用できます。7 階には 100 年以上におよぶ日本の映画の歴史を扱う常設展があります。ここにはポスター、写真、カメラ、貴重な残存プリントや、その他映画関連の資料が展示されています。その中には 1917 年のアニメーション映画『なまくら刀』があります。1899 年に撮影された日本映画『紅葉狩』といった日本の最古の映画の一部もあり、それは日本の重要文化財に指定されています。この階では年に 2～3 回、企画展も催されます。